



# 美術教育支援協会

発行・編集／事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話：03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158  
e-mail: info@npoaesa.org HP: npoaesa.org

現在会員数:103名(協賛5社)含)



## ◆ 理事長あいさつ

理事長 谷岡 清

風薫る爽やかな季節、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年は、イスラム国による衝撃的な事件で幕を開ける波乱の年となり、多くのテロが続く異常な事態となりました。テレビで公開された殺伐たる映像とともに、世界の注目を集めたシーンがありました。イスラム国の人々が大きなハンマーを振って、美術館に展示された古代メソポタミア文明の貴重な遺品である彫刻群を次々と破壊している場面です。いくら宗教上の理由とはいえ、イスラム教が生まれる、はるか1500年も前に、自分たちの祖先が造り、遺した歴史的な文化遺産を、何のためらいもなく打ち壊す姿は見るに堪えません。偶像破壊が進行すれば、やがてキリストの絵画・彫刻、仏教やヒンドゥ教の像もその対象になってきます。現にバーミヤンの大仏は2001年に爆破されてしまいました。本来宗教は、人の心を救い、より安らかに生きるのを助けるものであるはずなのですが…。

その後もテロは続き、チュニジアで起きた美術館襲撃は数多くの犠牲者を出し、心を痛めた方も多かったと思います。美術館という平和の象徴のような場所であっただけに、ショックはさらに大きいものでした。全く無関係な人々に銃を向け、結局銃殺されてしまった犯人たちは、何を得たのでしょうか？

私は今年も講演のため飛鳥Ⅱ 世界一周クルーズに乗船しますが、世界情勢の急激な変化により、コースや寄港地などにも変更がありました。テロはヨーロッパ各地の旅行や移動に、計り知れない悪影響を与えていると思います。世界の人々がどこでも安心して旅のできる平和な世界——美術に携わる者として、その一日も早い実現を強く願います。

## ◆ 今夏の土曜フォーラム企画『美術館日帰りツアー』は箱根方面に！

NPO 法人美術教育支援協会のバス日帰りツアー そのⅢ

理事長 谷岡 清と行く箱根「岡田美術館」と「ガラスの森美術館」

NPO 法人美術教育支援協会谷岡理事長の同行・解説、貸切バスで巡ります。小涌谷温泉に2013年秋開館した「岡田美術館」、日本・中国・韓国の古代から現代までの名品を収蔵。仙石原の「箱根ガラスの森美術館」はヴェネチアン・グラス専門美術館。15～18世紀の欧州貴族を熱狂させ、卓越した技を尽くした美の極み、繊細優美の輝きのヴェネチアン・グラスを楽しみます。



■募集！7月9日(木)理事長・谷岡 清と行く美術館日帰りツアー「岡田美術館」「ガラスの森美術館」

参加費：会員 20,000円／会員紹介 21,000円 / 一般 22,000円

(※今回は各美術館でゆっくり鑑賞の時間を取ります)

6月8日(月)までに事務局にお申込みください。tel: 03-3398-9155 fax: 03-3398-9158

開催日 7月9日(水) ※最少催行人数 15名 ツアー確定は6月15日(月)までに参加申込者にご連絡します

8:30 新宿駅西口バス集合場所集合 ⇒ 神奈川県箱根町小涌谷「岡田美術館」 小涌園にて昼食・散策

⇒ 箱根「ガラスの森美術館」・庭園散策 ⇒ 東名御殿場経由 ⇒ 新宿駅西口着 18:30 ごろ

## ◆ 今秋の土曜フォーラム企画 『世界の美術館の旅Ⅶ』 (プロジェクター投影と解説)

2015年の「土曜フォーラム・世界の美術館Ⅶ」も内容充実 乞うご期待！ 講師＝谷岡 清

昨年の「土曜フォーラム」は、世界の美術館の第6弾で、多くの方々にご参加いただき、好評のうちに終了することが出来ました。今年のテーマを決めるため皆様のアンケートのご意見を拝見したところ、世界の美術館シリーズの継続を希望される方が多く、今年も選りすぐった美術館をご紹介しますことにしました。内容の充実した美術館ばかりです。ぜひお問い合わせの上至宝の数々をお楽しみください。

● 予定期日：講演会場予約の関係で 2015年9月ごろに決定します。奮ってご参加ください。(10月～12月の4日間)  
(参加費) 会員：2,500円(@700) / 以前参加・会員紹介 3,000円(@800) / 一般：3,500円(@900) / いずれも4回分 (@)は1回分

- ◆ 第一回 ・ウフィッツィ美術館 2.5時間の詳細講演
- ◆ 第二回 ・ヴァチカン美術館 2.5時間の詳細講演
- ◆ 第三回 ・エルミタージュ美術館 2.5時間の詳細講演
- ◆ 第四回 ・プラド美術館 2.5時間の詳細講演

※今までのご出席者・会員の方々には日程が決まり次第ご案内書をお送りします。また、ホームページにアップいたします

## ◆ 今冬のスペシャル土曜フォーラム 2015年12月4日(土) 下山静香ピアノコンサート《音楽×美術》

### ◆ 昨年に続いて下山静香ピアニストとのコラボレーション企画 第3弾案

2015年12月4日(土) 荻窪の杉並公会堂小ホール 14時45分から開演

スペインの心を持つピアニストと称され、音楽文化研究でご活躍の下山静香さんが、絵画の世界をヨーロッパ全域に求め、関連映像をプロジェクターで投影し、お話と共に贈りする、新しい形のコンサートで3回目の開催となります。

### ◆ パリがみた夢 ～ 絵画が奏で、音楽が描く ～ (詳細発表は夏頃 HP 上になります)

とりあげる予定の画家は、ルノワール、ドガ、モネ、マネ、ルドン、ベラスケスなど・・・。

作曲家は、ショパン、ドビュッシー、フォーレ、ラヴェル、プーランク、武満徹など・・・。

(音楽と絵画の組み合わせ内容は後日、詳細をチラシにて発表をいたします)



## ◆ 昨年 2014年の土曜フォーラム活動報告 (箱根ポーラ美術館日帰りツアー) (世界の美術館の旅Ⅵ)

◆ 2014年春のスペシャル土曜フォーラムは下山静香さんのピアノコンサートでした。

---- 下山静香が贈る! 「魅惑のスペイン紀行」 ----

2014年4月12日 午後2時半～ 於：杉並公会堂小ホール

### ◆ 2014 夏のバスツアー土曜フォーラム 『谷岡清と行く 箱根「ポーラ美術館&成川美術館」日帰りバスツアー』のご報告

2014年7月9日朝 新宿西口に集合、バスは一路東名高速へ。谷岡講師の事前のレクチャーをバスの中で受けながら、順調に御殿場へ。途中紫陽花に映える富士山の雄姿に運転手さんの機転の利くサービスで少し途中駐車。皆さんカメラを持って紫陽花を前景に富士山の写真を撮り。順調に「ポーラ美術館」へ到着。平日午前中なので空いており、会議室において学芸員さんの概要説明を拝聴。谷岡講師の案内で美術館へ。モジリアニの特別展と常設展内のルノワールやモネの睡蓮など印象派の巨匠の絵画に感激。美術館内のレストランにて昼食。

午後は元箱根の成川美術館へ。丘の中腹に建つ美術館からは芦ノ湖が美しい。山本丘人や平山郁夫をはじめ多数の日本画が見事に集合している。予定より少し遅れて新宿駅西口に到着。皆さまお疲れさまでした。

成川美術館にて



御殿場より紫陽花と富士山



NPO法人美術教育支援協会 2014夏の土曜フォーラム  
谷岡 清と行く「箱根ポーラ美術館」と「成川美術館」平成26年7月9日



◆2014 秋の土曜フォーラム

例年のように下記テーマ、日程にて開催しました。

4回の参加者は延べ181名で、谷岡講師の立て板に水の如き説明と美しい写真に参加者は大感激でした。また、アンケートのご協力ありがとうございました。次回も世界の美術館シリーズへのリクエストが多く、好評に終了いたしました。

- ① 平成26年10月11日(土)『ルーブル美術館 ヨーロッパ絵画詳細』
  - ② 平成26年11月8日(土)『ルーブル美術館 古代世界の彫刻詳細』
  - ③ 平成26年11月22日(土)『大英博物館 古代ギリシャ彫刻等』
  - ④ 平成26年11月29日(土)『大英博物館 古代エジプト・東洋美術』
- 於：杉並区・荻窪地域区民センター(東京都杉並区荻窪2-24-20)  
各日共：14時～16時半 講師・谷岡 清



土曜フォーラム講演風景

◆ 2014 年秋の土曜フォーラムに参加して 清水 淑郎 / 高橋 幸子

美術が夫婦を結ぶ唯一共通の趣味 清水 淑郎

谷岡清先生との出会いは、いつ頃だったでしょう。記憶は定かではありませんが、15年ほど前だったようです。当時、異文化交流の活動をしている女性グループに属していた妻が、谷岡先生を講師とするギリシャ旅行に参加したのが始まりです。私共は美術が唯一の共通趣味である夫婦です。その後、この旅行社が主催する谷岡先生の講演会があり、妻に誘われてお伺いするうちに、その面白いお話の虜になってしまいました。最近、杉並地区で谷岡先生が主宰するNPOの講演「世界の美術館めぐり」があり、夫婦でよく出席しております。講演会後の懇親会が、いろいろ違った職業の皆様方の楽しい話題が出て、なかなか愉快なのであります。

谷岡先生と同世代の私の事を少々述べさせていただきます。医学部を卒業して国家試験にパスして、大学の生協に出入りしていた頃、ヨーロッパ視察団に随行する機会があり、各国の美術館を熱心にめぐりました。帰国後、1ドル360円時代の初の海外旅行を記念して、講談社の『世界の美術館』シリーズを購入、その後各社の美術全集を集めました。開業医は旅に出るのも容易でなく、世界の名画を手元に所有するのも不可能です。そこで美術全集を眺めているうちに、谷岡先生のお話を伺うことがますます楽しみになってきました。それでも連休や夏冬の休暇中には、世界の美術館を見に出かけます。ヨーロッパはもちろんですが、アメリカにもメロンコレクションやフリック美術館など、充実した美術館が数多くあります。美術館・博物館は、文化国家の象徴です。時間が許せば、谷岡先生企画の世界のクルージングに参加したいものです。



谷岡講師を囲んで懇親会

土曜フォーラムの魅力 高橋 幸子

会場の照明が消え、スクリーンに美術館の建物が映し出されると、私はいつも高まる期待にワクワクします。谷岡先生撮影の写真と、丁寧で熱心な解説に導かれて訪れる美術館の、奥の深いこと。ウフィツィ美術館の講座では、沢山の「受胎告知」の絵が映され、マリアの表情や天使の羽根の大きさの合理性等から一番の傑作はフラ・アンジェリコ(サンマルコ美術館)・・・と、鑑賞ポイントの説明がありました。続けて、天使が今走ってやってきた様に力強いパルドヴィネッティ、おずおずとした天使と驚きのマリアの姿はクレーディ、迫力ある強気の天使に説得されているマリア像はボッティチェリ、マリアがひるまず挑戦的な態度をとっている女性不信のダヴィンチ作と、鋭くユーモアに溢れる語り口に、書籍や美術展では解らない知識を得る楽しさは格別です。

アフガニスタン・ハッダで発掘された「釈尊を守るヘラクレス像」に、東西文明の交流を目の当たりにした時の驚きは、忘れられません。その後ハッダのすべての遺跡は破壊され、今も続く内戦や武装勢力の台頭による世界の文化財危機の話に、美や文化の継承の難しさを痛感しました。

美術館の中を、谷岡先生や受講生の方々と一緒に歩き回ったような、心地よい疲れと満足でいっぱいになって、毎回会場を後にしております。

## ◆ 2014 年度事業報告 2014 (H26) .4.1 ~ 2015 (H27) .3.31

2014/4/1 新年度第 8 期スタート  
 4/12「下山静香ピアノコンサート」開催 於:杉並公会堂小ホール  
 5/14 8 期第一回理事会 夏・秋の土曜フォーラム計画検討等  
 6/30 第二回理事会 来年杉並公会堂にてコンサート計画  
 秋の土曜フォーラム等の打ち合わせ  
 7/9 土曜フォーラム夏 箱根ポーラ美術館・成川美術館への  
 日帰りバスツアー  
 10/11 秋の土曜フォーラム①「ルーブル美術館 ヨーロッパ絵画詳細」

11/8 " ②「ルーブル美術館 古代世界の彫刻」  
 11/22 " ③「大英博物館 古代ギリシャ彫刻等」  
 11/29 " ④「大英博物館 古代エジプト・東洋」  
 2015/1/20 第三回理事会 土曜フォーラム終了報告  
 2/26 第四回理事会  
 杉並公会堂のピアノコンサート打合せ他

## ◆ 世界初の陶板名画美術館

青木 修

NPO フォーラム「世界の美術館」シリーズも谷岡理事長の秘蔵写真、名調子で回を重ねるごとに好評を得ていることはうれしい限りです。

さて、このフォーラムを聞く前に、或いは聞いた後に海外の美術館を訪れた方も多いと思います。一方、種々の事情で海外の美術館まで足をのばせない人も多いことでしょう。そんな方へのおすすめが「大塚国際美術館」(平成 10 年開館)です。徳島県鳴門市に日本最大級の展示スペース(29412 m<sup>2</sup>)を有する「陶板名画美術館」です。館内には 6 名の選定委員によって厳選された古代壁画から世界 25 か国 190 の美術館が所蔵する現代絵画まで至宝の西洋絵画 1000 余点を大塚オーミ陶業株式会社の特許技術によって、オリジナル作品と同じ大きさに複製されています。美術書や教科書と違い、原画が持つ本来の美術的価値を味わうことができ、日本に居ながらにして世界の美術品を体験できます。門外不出の「ゲルニカ」をはじめ、散逸していたエル・グレコの祭壇画の復元など画期的な試みもなされ、1000 余点の検品のためにピカソの子息や各国の美術館長・館員が来日、美術館作品に対して大きな賛辞を頂いたとのことです。

昨年 6 月に訪れ、ゴヤの「裸のマハ」「着衣のマハ」の部屋の隣には、ゴヤ最晩年の家の再現を見ることができ、その四つの壁面の作品に彼の生涯、スペインの歴史を見る思いがしました。たまたま堀田善衛著「ゴヤ」を読んだ直後で大変感動したものです。鑑賞に半日ほど(4 時間)とっていたのですが、到底全部をゆっくり見ることができないことを悟り、いつか時間をたっぷりとり再訪をと切に願っているところです。(当 NPO 理事)

## ◆ 事務局より会費納入のお願い



### 【第 8・9 期会費納入のお願い】

お蔭様で現在 100 名の会員(協賛会社含む)の方々がいっぱいいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いしたいと存じます。お手数ですが 8 期の会費がまだの方(H26. 4. 1~H27. 3. 31)と新たに 9 期の会費(H27. 4. 1~H28. 3. 31)各期 3,000 円を下記へお振込みいただきますようお願いいたします。

(H27. 1. 1 以降ご加入の会員様は有効期間を H28. 3. 31 としてお取り扱いいたします)

- 三菱東京 UFJ 銀行・荻窪支店：普通 1792572 トクテヒエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 三井住友銀行・荻窪支店：普通 0568070 トクテヒエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 郵便振替 00140-2-318540 トクテヒエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

## ◆ 事務局長から・今年の(2015 年度 Vol.7) 会報お届けにあたって

松尾芭蕉、奥の細道冒頭にて曰く「月日は百代の過客にして行きかう年もまた旅人なり・・・」早いもので当 NPO 会報も今号で 7 号に至りました。又本年は戦後 70 年。昭和 20 年生まれは 70 歳古来希れといわれたのも今は昔で現在多数、略して「古希」ではなく「現多」と称するそうです。

当 NPO が今後どのように年を重ねて参れるかは予測できませんが、「次世代に引き継げるにふさわしい進展」が為されねばならない責務が現理事・事務局には求められているものと存じます。

「美術教育支援協会」と称するので美術に関わる各種取り組みをこれまで以上に励まねばならないのは申すまでもございません。趣旨にご賛同いただける会員増員はもちろんですが、名に恥じない活動を深めて参らねばならない使命をも帯びております。

日本国憲法第 25 条に「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあります。健康で文化的な生活を営むに当たっての支援の中に「美術教育」が含まれるとするならば、我々 NPO の果たすべき役割り責務は憲法に則ったものであり、誇りを持って今後とも取り組んで参らねばならぬことは言を待ちません。

会員の皆さまには宜しくご支援賜りますと共に忌憚なきご意見、ご指導をお寄せ下さいますようお願い申し上げます

平成 27 年 5 月 20 日

NPO 法人美術教育支援協会 事務局長 簗島 紘一